

ノニルフェノール(NP)の分析

容器貸し出しから分析結果までトータルでサポートします！

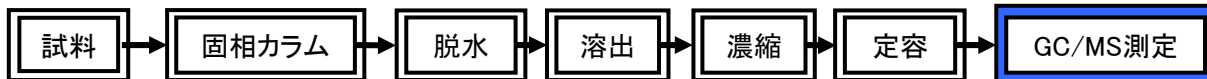
測定法 : GC/MS
 製品分野 : 環境
 分析目的 : 微量濃度評価

概要

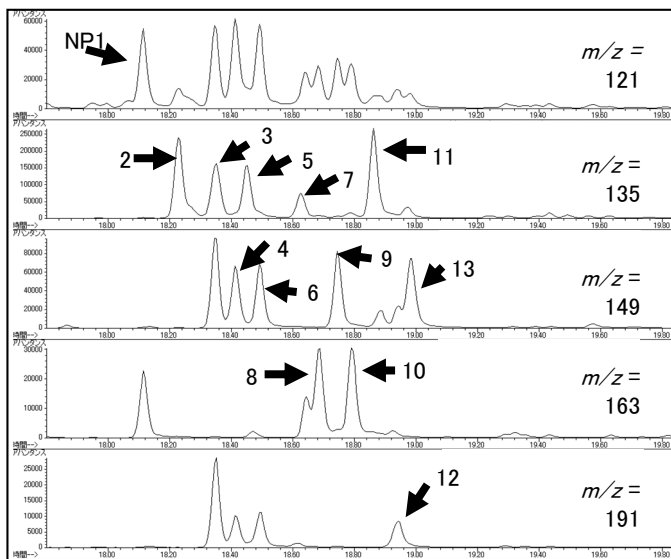
水質汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準のうち、水生生物の保全に係る環境基準の項目に新たにノニルフェノール(NP)を追加することが告示されました(平成24年8月22日)。NPは生物への影響が懸念される物質とされており、基準値は水域・類型別に0.0006~0.002 mg/Lと設定されています。この濃度領域においてNPの濃度評価を行った事例をご紹介します。
 MSTでは専用の容器貸し出しから測定まで一括で行うサービスを受託しております。

データ

■ノニルフェノールの測定方法 環境庁告示59号付表11



■ノニルフェノールのSIMクロマトグラム

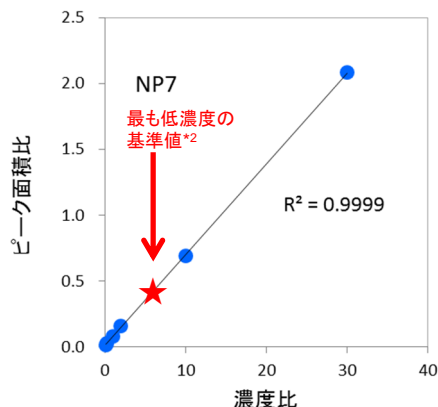


■添加回収試験 *1

試料水	超純水	河川水
回収率	104%	98%

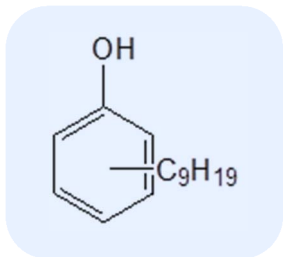
*1: サロゲート/内標準にて算出
 回収率は50-120%に入ることが必要

■検量線(例: NP7)



*2 前処理による1000倍濃縮を加味

■ノニルフェノールの構造式



■ノニルフェノールの環境基準値

水域	類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
河川及び湖沼	生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.001 mg/L以下
	生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.0006 mg/L以下
	生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.002 mg/L以下
	生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.002 mg/L以下
海域	生物A	水生生物の生息する水域	0.001 mg/L以下
	生物特A	生物Aの水域のうち、水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.0007 mg/L以下

分析サービスで、あなたの研究開発を強力サポート！